

ついでに令和2年度館林市一般会計補正予算(第10号)及び(第11号)において、市史編さん事業712万8000円など合計9億7272万4000円を繰越明許費として設定し、繰越計算書のとおり令和3年度に繰越したことについて、報告されました。

▽令和2年度館林市下水道事業会計予算の繰越報告について令和2年度館林市下水道事業会計予算の建設改良費の2700万円を繰越計算書のとおり令和3年度に繰越したことについて、報告されました。

▽市長発言に定例会最終日、6月10日の一般質問において、齊藤貢一議員より「過去の新聞報道の中で、板倉町との合併推進にあたり、板倉町の条件を丸のみするという記事が掲載されているが、そうした発言をした事実はあるのか」という質問への答弁の内容が、言葉が不足した説明となり、報道機関に対して疑義を抱きかねない結果となったこと、その後の齊藤議員の質問の展開や議会運営に影響を与えたことについての謝罪発言がありました。



マンホールの蓋

### 議員提出議案

▽館林市議会会議規則の一部を改正する規則(デジタル化政策の一環として押印

廃止を推進するため、請願者に対し提出時に求めている押印について、署名又は記名押印に改めるもので、なお、身体的理由により、請願者が自署できない場合も想定されることから、署名による押印廃止に加え、選択肢として記名押印も可能とするため、本規則の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

### 市長発言

▽市長発言に定例会最終日、6月10日の一般質問において、齊藤貢一議員より「過去の新聞報道の中で、板倉町との合併推進にあたり、板倉町の条件を丸のみするという記事が掲載されているが、そうした発言をした事実はあるのか」という質問への答弁の内容が、言葉が不足した説明となり、報道機関に対して疑義を抱きかねない結果となったこと、その後の齊藤議員の質問の展開や議会運営に影響を与えたことについての謝罪発言がありました。

### 動議

▽市長発言等に関する調査特別委員会設置の動議(定例会最終日、吉野高史議員より、先日行われた一般質問における市長答弁の真意及び発言の事実関係の調査、また、市長選挙結果や市政への影響を調査するため、地方自治法第100条第1項の権限を付託した特別委員会(百条調査特別委員会)を設置する動議が提出されました。本動議は、所定の賛成者により成立し、その後、議事日程に追加され、審議を行い、採決の結果は、賛成少数で否決されました。

### ※動議とは

議員が議長にあらかじめ連絡をとらずに、会議において、提議するものです。特別委員会設置の動議のほか、議案に対する修正の動議、懲罰動議、長の不信任の動議などがあります。

## 常任委員会の審査報告

### 総務文教

付託された議案は、館林市税条例の一部を改正する条例の1議案で、採決の結果は、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

### 市民福祉

付託された議案は、「館林市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例」(館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)の2議案で、採決の結果は、2議案とも全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決しました。

### 経済建設

付託された案件は、議案2件で、まず、「館林市手

数料条例の一部を改正する条例」については、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

次に、「市道7075号線の路線廃止については、路線の現地調査を行った後に審査を行い、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、建築課から「第3期館林市耐震改修促進計画について」の報告がありました。



市道 7075 号線の現地調査